

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成21年12月25日

化学物質等のコード : 1305-5330

化学物質等の名称 : 2-メチルペンタン

2.危険有害性の要約

分類の名称;引火性液体

危険性 ;引火しやすい液体で、蒸気は空気と爆発性混合ガスをつくり、引火爆発の危険がある。揮発性物質で、屋内、屋外または下水溝中で火災爆発の危険性がある。

有害性 ;皮膚や眼に接触すると刺激作用がある。麻酔作用があり、吸入または経口摂取すると、めまい、手足の感覚麻痺、歩行困難など多発性神経炎の症状が現れることがある。重症の場合、肺炎、肺水腫を起こす。

環境影響;データなし

3.組成、成分情報

化学名 2-メチルペンタン
(別名) イソヘキサン
含有量 90 %
化学式・分子量 $\text{CH}_3 \text{CH}_2 \text{CH}_2 \text{CH}(\text{CH}_3)\text{CH}_3 = 86.18$
化審法公示番号 2-6
CAS No. 107-83-5
危険有害成分 2-メチルペンタン

4.応急処置

目に入った場合;直ちに多量の水で15分以上洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。
皮膚に付いた場合;石けん水又は多量の水で十分に洗い流し、ハンドクリームをよく擦り込む。

もし、皮膚に炎症を生じた時は医師の手当を受ける。

吸入した場合;新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め、直ちに医師の手当を受ける。
呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。

誤飲した場合;直ちに200mlの流動パラフィンを飲ませて吐かせる。更に20gの活性炭と硫酸マグネシウムを水と共にのませて医師の手当を受ける。

5.火災時の処置

消火方法;火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。

消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

消火剤;粉末、二酸化炭素、泡(アルコール泡)、水噴霧(棒状注水は無効)

6.漏出時の措置

火気厳禁とし、通気換気を充分に行い、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて密閉できる空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。

この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- ・火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触をさける。
- ・吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・容器を密封しまたは局所排気装置を設置する。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- ・静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

保管

- ・保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。

・容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
その他 労働安全衛生法、消防法などの法令に定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 作業環境評価基準；設定されていない。
許容濃度 日本産業衛生学会勧告値；設定されていない。
ACGIH (TLV)；TWA 500ppm STEL 1000ppm
OSHA (PEL)；設定されていない。

設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
・取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護衣、保護手袋、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観 無色透明の液体
蒸気密度 3.0 (空気 = 1)
臭気 カリソ臭
蒸気圧 23KPa(20)
沸点 60.271
比重 0.654 (20/4)
融点 -153.670
溶解度 水に不溶、エタノール、エーテルに易溶

10. 安定性及び反応性

引火点 < -7
爆発範囲 1.2 ~ 7.0 vol %
発火点 265

安定性・反応性 通常の実験条件において安定。

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性 経口 ラット TDLo = 10 gm/kg/4W-I (RTECS)
刺激性 データなし
感受性 データなし
変異原性 データなし
がん原性 データなし
慢性毒性 データなし

12. 環境影響情報

魚毒性 データなし
残留性/分解性 データなし
生体蓄積性 データなし

13. 廃棄上の注意

焼却法

・焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。
・少量の場合はおがくず、ウエス等に吸収させて解放型の焼却炉で焼却する。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

国連分類 : クラス 3 (引火性液体) PG
国連番号 : 1208 (ヘキサン)

15. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を通知すべき有害物 No.520
(法第57条の2(令第18条の2))
危険物 引火性の物 (令別表第一の4)
化学物質管理促進法(PRTR法)：非該当
消防法 : 危険物第4類 第1石油類 (非水溶性) 危険等級2
毒物及び劇物取締法：非該当
船舶安全法 (危規則)：引火性液体類
航空法 : 引火性液体

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。